



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <https://www.aida.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 鶴川 裕光 (TEL) 042 (772) 5231

四半期報告書提出予定日 2022年11月9日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,164	19.5	716	△10.3	789	△18.0	495	△10.3
2022年3月期第2四半期	26,910	4.5	798	△48.3	962	△40.6	552	△27.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 574百万円(△68.3%) 2022年3月期第2四半期 1,811百万円(△23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	8.30	8.29
2022年3月期第2四半期	9.26	9.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	114,341	77,137	67.4	1,290.53
2022年3月期	113,933	78,664	68.4	1,304.89

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 77,046百万円 2022年3月期 77,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	15.3	3,400	35.7	3,500	43.9	2,300	156.6	38.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料10ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料10ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	69,448,421株	2022年3月期	69,448,421株
2023年3月期2Q	9,747,524株	2022年3月期	9,748,838株
2023年3月期2Q	59,700,182株	2022年3月期2Q	59,694,906株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
受注の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍から正常化に向かいつつある一方、世界的な物価高騰、半導体・電子部品不足、ロシア・ウクライナ問題等の影響で、全体として減速局面にあります。今後も、これらの問題の長期化に加え、エネルギー不足、米中対立等の地政学的リスクも懸念され、依然として先行きは不透明な状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内の堅調な需要を反映し、当第2四半期連結累計期間の受注は前年同期比12.0%増の79,570百万円（一般社団法人日本鍛圧機械工業会プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、電気自動車関連の需要拡大に支えられ第2四半期累計ベースで過去最高の47,302百万円（前年同期比11.5%増）となり、受注残高は70,282百万円（前年度末比27.5%増）となりました。

売上高については、中・大型プレス機械の工事進行基準売上の増加や為替影響等により32,164百万円（前年同期比19.5%増）となりましたが、電子部品不足等の影響により売上がズレ込み、当初想定していた水準を下回っている状況です。

利益面では、上記要因による売上不足に加え、原材料費、外注費、物流費等の原価高騰、高付加価値プレス案件やサービスの売上ズレ込み等による粗利率低下、販管費の増加等により、営業利益は716百万円（同10.3%減）、経常利益は789百万円（同18.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は495百万円（同10.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

日本： プレス機械売上が増加し、売上高は18,736百万円（前年同期比15.5%増）となりましたが、セグメント損益は原価高騰等に伴う粗利率の低下により288百万円の損失（前年同期は85百万円のセグメント利益）となりました。

中国： 電気自動車関連のプレス機械売上増加により、売上高は5,331百万円（前年同期比30.2%増）となりましたが、セグメント利益はサービス売上の減少や販管費の増加により253百万円（同33.3%減）となりました。

アジア： ロックダウン等で落ち込んだ昨年度からプレス機械とサービスの売上が回復し、売上高は5,433百万円（前年同期比128.0%増）となり、セグメント利益は増収により339百万円（同119.3%増）となりました。

米州： プレス機械売上が増加し、売上高は8,197百万円（前年同期比39.2%増）となりましたが、セグメント利益は原価高騰等に伴う粗利率の低下により49百万円（同21.0%減）となりました。

欧州： 電子部品不足による売上ズレ込み等によりプレス機械とサービスの売上はともに減少し売上高は4,991百万円（前年同期比18.1%減）となりましたが、セグメント利益は粗利率の改善により87百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産については、前年度末に比べて407百万円増加し、114,341百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少4,579百万円、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権といった売上債権の増加2,399百万円、棚卸資産の増加3,454百万円、その他流動資産（主に前渡金）の増加1,012百万円、投資有価証券の減少2,379百万円等であります。

負債は、前年度末に比べて1,934百万円増加し、37,204百万円となりました。主な要因は、買掛金及び電子記録債務といった仕入債務の減少615百万円、未払金の減少903百万円、契約負債の増加3,194百万円等であります。

純資産は、前年度末に比べて1,526百万円減少し、77,137百万円となりました。主な要因は、利益配当等による利益剰余金の減少1,105百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,568百万円、為替換算調整勘定の増加2,125百万円等であります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は67.4%となりました。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前年度末と比べ4,805百万円減少し30,224百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は1,925百万円(前年同期は4,448百万円の収入)となりました。主な要因は、収入として税金等調整前四半期純利益885百万円、売上債権の減少1,049百万円、支出として棚卸資産の増加2,252百万円、仕入債務の減少1,762百万円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は2,036百万円(前年同期は1,144百万円の支出)となりました。主な要因は、支出として有形及び無形固定資産の取得による支出1,595百万円、子会社株式の取得による支出500百万円等であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は2,157百万円(前年同期は873百万円の支出)となりました。主な要因は、支出として配当金の支払額1,598百万円、短期借入金の返済554百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

以下の通り、2022年5月16日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じると共に、2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 第2四半期連結累計期間 業績予想と実績との差異について

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 36,000	百万円 2,700	百万円 2,800	百万円 2,000	円 銭 33.50
今回発表実績値(B)	32,164	716	789	495	8.30
増減額(B-A)	△3,835	△1,983	△2,010	△1,504	—
増減率(%)	△10.7	△73.5	△71.8	△75.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績値 (22年3月期第2四半期)	26,910	798	962	552	9.26

2. 通期連結業績予想値の修正について

2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 72,000	百万円 5,500	百万円 5,700	百万円 4,000	円 銭 67.00
今回修正予想(B)	72,000	3,400	3,500	2,300	38.53
増減額(B-A)	—	△2,100	△2,200	△1,700	—
増減率(%)	—	△38.2	△38.6	△42.5	—
(ご参考) 前期実績値 (22年3月期)	62,466	2,505	2,432	896	15.02

3. 業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想修正の理由

第2四半期連結累計期間における売上高実績値は、電子部品不足等の影響でプレス機械やサービスの売上が下期にズレ込んだこと等により当初予想値を下回りました。また利益実績は原材料費や外注費等の原価の高騰、高付加価値プレス案件の売上ズレ込み等による粗利率の低下の影響で、当初予想値を下回りました。

通期の売上高予想につきましては、下期以降も電子部品不足が改善せず売上遅延が継続するものの円安による売上高のかさ上げが見込まれることから、当初予想を据え置いております。利益予想につきましては、下期に高付加価値プレス案件やサービスの売上増により粗利率は回復するものの、下期に見込んでいた高付加価値プレス案件の売上が来期にズレ込むこと、原材料費等の原価や光熱費の増加が想定を上回ることから、当初予想より下方修正しております。

※上記の業績予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,031	30,452
受取手形、売掛金及び契約資産	17,690	20,247
電子記録債権	1,087	930
製品	4,135	3,503
仕掛品	13,019	16,309
原材料及び貯蔵品	4,420	5,217
その他	3,358	4,371
貸倒引当金	△1,040	△1,037
流動資産合計	77,703	79,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,709	26,722
減価償却累計額	△18,481	△19,054
建物及び構築物（純額）	7,227	7,668
機械装置及び運搬具	18,849	20,440
減価償却累計額	△13,822	△14,973
機械装置及び運搬具（純額）	5,027	5,467
土地	7,263	7,295
建設仮勘定	1,437	865
その他	3,925	4,140
減価償却累計額	△3,418	△3,608
その他（純額）	506	532
有形固定資産合計	21,462	21,828
無形固定資産	1,179	1,343
投資その他の資産		
投資有価証券	10,469	8,090
保険積立金	1,891	1,822
退職給付に係る資産	820	837
繰延税金資産	285	306
その他	153	151
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	13,588	11,175
固定資産合計	36,230	34,347
資産合計	113,933	114,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,137	5,860
電子記録債務	2,888	2,550
短期借入金	1,094	569
未払金	1,612	709
未払法人税等	175	324
契約負債	12,091	15,285
製品保証引当金	497	562
賞与引当金	1,020	1,053
役員賞与引当金	22	16
受注損失引当金	211	167
その他	2,398	3,244
流動負債合計	28,150	30,344
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
長期末払金	924	1,020
株式給付引当金	510	604
退職給付に係る負債	1,456	1,462
資産除去債務	9	9
繰延税金負債	2,336	1,785
その他	380	477
固定負債合計	7,119	6,859
負債合計	35,269	37,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,836	13,007
利益剰余金	55,511	54,405
自己株式	△5,250	△5,250
株主資本合計	70,927	69,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,815	3,247
繰延ヘッジ損益	△295	△741
為替換算調整勘定	2,365	4,490
退職給付に係る調整累計額	87	55
その他の包括利益累計額合計	6,973	7,052
新株予約権	91	91
非支配株主持分	671	—
純資産合計	78,664	77,137
負債純資産合計	113,933	114,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	26,910	32,164
売上原価	21,934	26,862
売上総利益	4,975	5,302
販売費及び一般管理費	4,177	4,585
営業利益	798	716
営業外収益		
受取利息	19	35
受取配当金	115	169
為替差益	11	—
その他	46	47
営業外収益合計	193	252
営業外費用		
支払利息	11	9
為替差損	—	97
支払手数料	—	57
その他	18	16
営業外費用合計	29	180
経常利益	962	789
特別利益		
固定資産売却益	5	1
操業停止又は縮小に関わる助成金収入	12	8
投資有価証券売却益	—	100
特別利益合計	17	109
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	11	4
操業停止又は縮小に伴う損失	105	6
特別損失合計	117	12
税金等調整前四半期純利益	863	885
法人税等	325	390
四半期純利益	538	495
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	552	495

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	538	495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,134	△1,568
繰延ヘッジ損益	35	△445
為替換算調整勘定	137	2,125
退職給付に係る調整額	△33	△32
その他の包括利益合計	1,273	78
四半期包括利益	1,811	574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,826	574
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	863	885
減価償却費	967	893
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△58
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	0	32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	20
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△6
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	36	△60
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△100
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24	△2
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△66	△63
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	50	93
受取利息及び受取配当金	△135	△204
支払利息	11	9
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5	0
固定資産除却損	11	4
売上債権の増減額 (△は増加)	8,042	1,049
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,506	△2,252
仕入債務の増減額 (△は減少)	△286	△1,762
その他の資産の増減額 (△は増加)	△202	△313
その他の負債の増減額 (△は減少)	△629	779
その他	122	△1,033
小計	5,316	△2,090
利息及び配当金の受取額	135	202
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△991	△27
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,448	△1,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△44	△529
定期預金の払戻による収入	14	322
有形固定資産の取得による支出	△787	△1,196
有形固定資産の売却による収入	6	14
無形固定資産の取得による支出	△325	△399
投資有価証券の取得による支出	△9	—
投資有価証券の売却による収入	—	251
子会社株式の取得による支出	—	△500
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,144	△2,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	392	△554
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,257	△1,598
非支配株主への配当金の支払額	△5	△2
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△873	△2,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	1,314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,516	△4,805
現金及び現金同等物の期首残高	31,700	35,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,216	30,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高								
①プレス機械	5,445	3,087	626	4,398	4,538	18,096	—	18,096
②サービス	2,789	802	524	1,438	1,314	6,869	—	6,869
③その他	1,885	16	4	—	38	1,944	—	1,944
小計	10,120	3,906	1,155	5,836	5,890	26,910	—	26,910
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,094	187	1,228	51	205	7,768	△7,768	—
計	16,215	4,094	2,383	5,888	6,096	34,678	△7,768	26,910
セグメント利益	85	379	155	62	75	759	39	798

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高								
①プレス機械	6,898	4,433	2,273	6,376	3,521	23,502	—	23,502
②サービス	2,647	596	832	1,574	1,210	6,860	—	6,860
③その他	1,762	13	13	1	11	1,801	—	1,801
小計	11,307	5,043	3,119	7,951	4,742	32,164	—	32,164
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,428	287	2,314	245	248	10,524	△10,524	—
計	18,736	5,331	5,433	8,197	4,991	42,689	△10,524	32,164
セグメント利益又は損失(△)	△288	253	339	49	87	442	274	716

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注の状況

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（％）	金額（百万円）	前年度末増減率（％）
日本	14,632	△7.9	22,138	17.7
中国	11,294	69.9	17,238	56.9
アジア	3,671	10.2	4,783	13.1
米州	9,585	△12.0	12,358	15.2
欧州	8,118	43.1	13,762	32.5
合計	47,302	11.5	70,282	27.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。